

適正利用・エコツーリズムワーキンググループからの報告

1. 知床エコツーリズム戦略の運用状況

(1) すでに実施されている提案

過去に戦略に基づく提案が5件なされ、2件の提案が承認されている(別表)。

① 知床ヒグマエサやり禁止キャンペーン(提案者:斜里町観光協会)

観光客等に対して、ヒグマへのエサやり禁止について周知する企画。平成25年から3ヶ年を期間として、関係機関が協働して普及啓発活動を進め、観光関係者や観光客からの認知が進んだ。

(2) 検討中の提案

戦略に基づき提案された各テーマについて検討部会が発足し、課題解決の方法や具体的な進め方等について協議が行われている。

① 知床五湖冬期利用促進事業(提案者:斜里町観光協会)

知床五湖までの道路を除雪し、ガイドによる冬期の知床五湖を利用できる仕組みを構築する提案。環境配慮やリスク管理についての検討が不十分で、継続検討中。

② 知床ロングトレイル・プロジェクト(提案者:知床ガイド協議会)

「歩く利用」のニーズに対応するために、知床自然センター～知床峠間にロングトレイルを通す提案。環境配慮に関する調査が十分実施できず、また維持管理が十分できる見込みが立たず、取り下げの予定。

③ 赤岩地区昆布ツアー(提案者:羅臼町観光協会)

伝統的な漁業活動や知床における人と自然の関わりなどを後世に伝えていくため、羅臼の赤岩地区において船舶を利用したツアーを行う提案であり、部会にて検討を行った。今回の検討会議で可否決定の予定。

なお、先端部地区利用の心得との調整の必要性を同時に検討予定。

2. 個別地域における取り組み状況

従来から検討してきた個別地域の検討状況については以下の通り。

○知床五湖における取り組み

→平成26年度中に知床五湖利用適正化計画の改訂を行い、ヒグマ活動期における適正な範囲での利用者の増枠、地上遊歩道の限定的な2ルート併用という新制度の運用を開始。

○カムイワッカ地区における取り組み

→平成26年度のマイカー規制期間について、夏季は25日間(8月1～25日)、秋季は10日間(9月13～22日)、計35日間の規制を行うことを決定。

○ウトロ海域における取り組み

→知床ウトロ海域環境保全協議会として、7月21日～31日までを海鳥WEEKと設定し、各種イベントを実施予定。海域観光の充実、収益の環境保全への還元、野生動物と人との適正な関係の周知、協議会の自立化(安定運営)等を目的として、知床ウトロ海のハンドブックを発行予定。